

長岡東部で市政こん談会

地区住民、

ジェット機の騒音に関心

公民館事業の一つとして、毎年開かれている市政こん談会が、九月十一日、長岡東部公民館に地元住民約二十名が集まり行われました。市側からは、小笠原市長はじめ関係課長が出席し、行政に対する質問や意見交換を行いました。

討論内容は……

■長寿祝金が年額三千円から五千円になりましたが、長生きは家族の協力も必要であり、もつと引き上げ、百歳の祝いには百万円位、奮発してはどうか。

■そういう考えはありません。お年寄りも多く、貧乏な市としての負担も大きく、またお金を差し上げることで、喜んでもらうとは思っていません。

■市議会議員の定数が多いように思う。議員の数が多いからといって、市が発展するとは思えないし、定数を減らしてはどうか。

■議会と執行部とは異質なもので、私から申し上げることはできません。

■高知空港のジェット化は、いつ

ごろで、それに伴う騒音対策は万全ですか。

■予定では、五十七年中に完成でしたが、もつと遅れ、五十八年三月頃になると思います。また騒音対策は、空港拡張反対の大きな柱でしたが、これが最後まで残ってしまいました。騒音対策地域の決定は、国の法律に従って、飛行機の種類や発着回数を考えて、科学的に騒音を測って行いますが、予想される地域について、まだ正確な数値がでていません。今は、より広い範囲で騒音対策を考えて欲しいと、申し入れていきます。

■東崎は、地区が広く、番地もとんでいてわかりにくく、不便なので整理してほしい。

■現在、住居表示が市街地を中心に進められ、後免地区で行われています。これには、一つの条件として、道路状況が先行き何十年も変わらぬものとして認められなければなりません。まだ、東崎地区は、変わりつつあり、条件が整うまで待つていただきたい。

■市職員は市民との接し方や、私生活に、モラルが欠けているのではないかと。たとえば、こんな時間に、こんな場所だと思うときがあるが。

■市長という立場で、とやかに言うことはできません。職員自身の公務員としての自発的な自覚に任せるしかありませんが、課長会を通して、外来者との親切な接し方など考えるよう職員に伝えます。

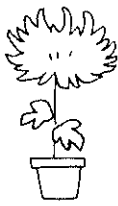
■南国市は他の市町村に比べ、文化・スポーツ施設の面で遅れていると思うが、作る計画はないのですか。

■検討中ですが、もう少し財政的に余裕ができてからになると思います。スポーツ施設については、学校のグラウンドを解放するなどして、効率的な利用を進めています。

■東部公民館の入口の橋に、街灯を付けてもらいたい。

■環境保健課に伝え、しかるべき処置をさせていただきます。

■討論は、約一時間半続き、まだ意見もあるようでしたが、予定の時間も過ぎたので、その後、市長の中国訪問談を、皆さん興味深く聞き、会を終りました。



普及所から①

野菜の新しい害虫 ミナミキイロアザミウマ

昨年の十一月頃、海岸地帯の施設野菜に、農薬のあまり効かない、これまでとはちがう害虫が発生しました。その後も被害面積は増え、この夏には露地野菜、家庭菜園にまで被害を与えて大きな問題となっています。

被害の状況は、葉の裏に発生した幼虫や成虫によって葉が食べられ、褐色に光るようになります。ひどいときには、茎が芯止りとなります。また、果実はガサガサになり、商品価値が全くなりません。

この虫の正体は、南方産の「ミナミキイロアザミウマ」という新しい害虫で、注意すれば肉眼でよ

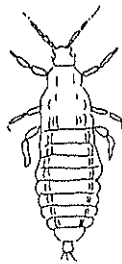
うやく見えるほどの小さい虫です。

特徴は、体はやや黄色がかって、農薬に抵抗性が強いことです。生態は、卵(6日)→幼虫(7日)

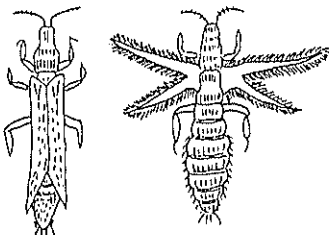
→さなぎ(5日)→成虫となり(摂氏25度で、約一カ月間毎日2〜3個ずつ産卵します。また、屋外では越冬できないといわれています。

この害虫は、野菜だけでなく、雑草までも寄生するため、周辺の雑草も含めた地域ぐるみの防除が必要です。

殺虫剤は、サイアノックス、スブラサイド、DDVPなどがよいでしょう。ご使用に際しては農協や普及所にご相談下さい。



体長 0.7mm 幼虫



体長 1~1.5mm 成虫
ミナミキイロアザミウマ